

■報告・確認事項

1・子供たちへのお祝いについて

中学生、高校生は卒業時にお祝いを渡しており、小学生は函館地区で渡していた。今後も子供の状況をみながら継続。

2・来訪者ノートについて

通常聖年の間、玄関前に巡礼者のための記載用ノートを置いていたが、活用されていないことが多いため、聖年閉幕後も今後は来訪者ノートを置かないで様子をみることになった。

3・プロジェクターについて

配置については検討中。新しいミサの会衆用式次第のほか、歌の部分、外国のかたにも配慮した内容にしていきたいため確認しながらすすめる。

当教会にプロジェクターが1台あり、試用する方向で。

■討議事項

1・高齢者、体の不自由な方への教会設備について

○聖歌隊席の置台を堅固なものに変えることを検討

○正面玄関外の中央部分手摺りは来年度設置予定。冬季間、滑り止め用の砂を用意し対策をする。

○朗読者のための手摺りをオルガン側に設置する案があり手摺りの形態も検討。

2・来年度の委員会の体制について

○海外の教会の体制についても触れ、意見が交換された。

○宣教福祉委員会は今後、継続していくことが困難であり、名前を変えて奉仕グループとして活動していきたい。場合によっては予算も必要な時もあるが了解を得た。

3・幼稚園への呼びかけについて

○クリスマスの案内カードはコロナを境に中断しているが、再開してはどうかと意見があった。

○子供が参加しやすいミサ、ミニバザーの声掛けなど案があった。

以上